

### 意見交換会

## 中野区商店街活性化に向けて

# 一人一人がやる気を出そう！

佐野議員が6月末から7月にかけて行ったタウンミーティングで商店街の振興について多くの意見が出されたが、これを受けて9月13日、「中野区商店街活性化に向けての意見交換会」が中野サンプラザで開かれた。

現在、中野区の商店街は87箇所、商店数は3000店を切り、20年前の約4800店から大幅に減少している。「今や商店街の立場は格差社会の底辺」（折原区商連会長）との発言にもあるように、行政だけでは解決できない問題も山積している。

意見交換会は初めに鈴木参与から商店街の活性化に向けて、約8000万円の予算が組まれたことが紹介された。

員をどう起こしていくのが今後の課題であり、同時に若い人達を育成していく体制作りの必要性も強調された。

次いで、各商店街の現状が報告された。立地条件などそれぞれ違いがあるものの、電灯料の援助が大きいことや、助成費で景品の質を上げ、買物客に楽しんで貰っている事例が報告された。一方、商店街の協力が制が不備なことも指摘された。一人一人がやる気を出すこと、眠ってしまった会

大型店と中小小売業者との商業調整を廃止したいいわゆる「まちづくり三法」について、弱者救済の面が欠けているとの意見が出された。また規制緩和についても、時代の流れで反対のしようがないが、『ここまで』という歯止めがないことも指摘された。



中新商店街でのマグロの解体ショー



イベントなどで商店街の活性化を(中新商店街)

意見交換会では新井薬師周辺のマップが話題になった。NASA航空宇宙局人工衛星の太陽電池の折り畳み方を考案したのは日本人で、三浦折りと呼ばれているが、このマップは水をはじく紙を三浦折りしたもの。歴史ある宝仙寺周辺のマップ



当日の出席者(敬称略)

中野区商店街連合会会長	折原 烈男
中野新橋商店街振興組合理事長	赤池 良雄
中野新橋商店街振興組専務理事	萩尾 孝之
宝仙寺前通商店会会長	鈴木 治政
宝仙寺前通商店会副会長	木下 克美
中野区区民生活部産業振興担当参事	鈴木由美子
中野区区民生活部産業振興分野商店街支援担当係長	酒井 信幸
中野区議会議員	佐野れいじ

中野坂上のようにオフィスが増えたら、商店街を維持していくのは無理だ、いつまでも我慢してやっていくことが果たして良いことなのか、切り替えも必要で、変えることが別に悪いことでもないという切実な意見も出された。また山手通り拡張で、環7みたいになると商店街がダメになってしまうという意見と、6万人の人達がくるのなら、宝仙寺の方へぐるっと回る良い商店街を作るチャンスになるという意見も出された。

また店先に乱雑に置かれた買い物客の自転車を直す内に、それぞれの自転車がきちんと置かれるようになった事例も紹介され、これからは自転車で来る客の受け入れ態勢も検討すべきだということ意見が一致した。肉屋さんで焼肉弁当を作って売り出したところ、好評で、それぞれが知恵をこらして、汗をかいて商店街を支えていくことが確認された。

### 中野駅～南部高齢者会館を走るバス

## 地元の要望に応じて増発を！

### 佐野議員が新たに取り組む



鍋屋横丁・中野新橋を経由して中野駅と南部高齢者会館を巡回するバス(京王バス)は地元の足として近年利用者が増加している。ただ、始発が7時台、終バスが夕方の6時台で、その間、1時間に1本しかなく増発を求める声も大きくなっている。

佐野議員はそのような地元の要請を京王バス側に伝えたところ、採算面・乗降者数など現状を調べ、検討するとの回答だった。

1時間に1本から増発されれば、待ち時間も少なくなり、利用者も更に増えることが予想される。

地元交通活性化のために地下鉄丸の内線のバリアフリー化に取り組んできた佐野議員のこれからの活躍に期待したい。

### 丸の内線バリアフリー化等について、東京メトロからの回答

(平成18年6月23日付け)

中野新橋駅	平成20年度を目途に駅の改装を予定。現状では、エスカレーターに一部階段が残る予定。
中野富士見町駅	エレベーターは予定通り平成18年3月着工、翌年3月完成予定。現在、エレベーター工事の準備として隣接地の駐車場整備を実施中。来月から地上部、秋から改札内でもエレベーター工事を実施する予定。
方南町駅	エレベーターは、引き続き設置用地の取得を目指す。
新中野駅	杉山公園口のエレベーターは、平成19年5月完成を目指し工事を実施中。反対側(北側)のエレベーターは、引き続き設置用地取得を目指す。
2方向避難経路	中野新橋駅、中野富士見町駅の経路の確保は、出口用地取得を目指す。

#### 中野坂上駅2方向避難経路整備について (平成18年4月6日、都市整備部の情報提供)

- 1、火災対策基準に基づく2方向避難経路整備のために、平成18年4月、東京メトロが、フコク生命ビル跡地(本町2-48-10、約600m<sup>2</sup>)を取得。
- 2、火災対策基準では、平成21年3月31日までに2方向避難路を整備することとしているが、現時点ではスケジュールは示されていない。
- 3、整備内容(プランニング)は、これから検討し決まり次第提示される予定。

### 課税自主権について

佐野議員 新税を起し、ただ税収を増やすことが目的ではなく、それによっての波及効果、税に対する区民意識の向上と、杉並区のポリ袋に見られるような優しい環境づくりや豊島区の放置自転車に対するマナー意識の喚起、駐車場整備の地域社会や事業者からの協力、税を課すること以上に、結果として大きなものが引き出せたのではないかと、長 施策を前進させるために、法定外新税という手段、方法も念頭に入れて検討していく

### 超過勤務手当について

15年度	4億9300万円
16年度	5億2000万円
17年度	5億8800万円
17年度の超過勤務手当の個人最高支給額は年間約251万円、時間数866時間	

佐野議員 超過勤務手当は年々増えている。また、1人の人に偏ること自体も問題だ。これは健康の問題も含めて上司の責任でもある。人事担当課長 区民サービスのため、それぞれの管理者はやむなく超過勤務を命令している

### 区の掲示板について

佐野議員 現在、中野区の掲示板は、「お知らせ板」(380ヶ所)と「区民の広場」(192ヶ所)の2種類があるが老朽化も目だっている。地域によって空板など貼るものにはらつきがある。利用頻度を高めると同時に雨で汚れた紙をはぐなど、巡回清掃など環境整備を徹底すべきだ。また昭和53年に定めたお知らせ版等の管理規定を見直してはどうか

公聴広報担当課長 見直し自体は年度内に行っていくきたい。可能な改善については出来るものから直ちに行っていく

### その他

佐野議員 今年3月に発行された冊子「新しい中野をつくる10か年計画」は3000部印刷し、300部を1冊710円で有償頒布、その内39部が販売されたとのことであるが、10か年計画を区民にアピールしなければならぬのに、区民に税金をいただいで、さらに710円を徴収することにしているのか

政策担当課長 この冊子を完全に無料で配布すべきかどうかは、別の問題かというふうに考えている